

平成 30 年度「労働安全衛生調査（実態調査）」の結果が公表されました

厚生労働省は、平成 30 年「労働安全衛生調査(実態調査)」の結果を公表しました。
以下、メンタルヘルス関連の結果をお知らせします(抜粋)。

事業所調査の結果

メンタルヘルス対策に取り組んでいる事業所 59.2%(前回 58.4%)

(取組内容)(複数回答可)

「労働者のストレスの状況などについて調査票を用いて調査(ストレスチェック)」
62.9%(前回 64.3%)

「メンタルヘルス対策に関する労働者への教育研修・情報提供」56.3%(同 40.6%)

「メンタルヘルス対策に関する事業所内での相談体制の整備」42.5%(同 39.4%)

労働者調査の結果

現在の仕事や職業生活に関することで強いストレスとなっていると感じる事柄が
ある労働者の割合 58.0%(前回 58.3%)

(内容)(3つまでの複数回答)

「仕事の質・量」 59.4%(前回 62.6%)

「仕事の失敗、責任の発生等」34.0%(同 34.8%)

「対人関係(セクハラ・パワハラを含む)」31.3%(同 30.6%)

ほぼ前年と同様の結果がみられた中で、メンタルヘルス対策に関する労働者への教育研修・情報提供の割合の増加が目立ちました。ストレスチェックテスト関連の研修について、冒頭のトピックスにて弊社の取り組みもご案内していますので、こちらもぜひお読みください。

(参考)平成 30 年 労働安全衛生調査(実態調査) 結果の概況
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/h30-46-50b.html>